

様式 2

使 用 機 器 （ リ ー ス ） 調 書

機器名	規格	実績値 A	設計値 B	増減 A-B	摘要

様式 3

放牧牛の転出直後の牧区（令和 7 年度）

--

放牧牛の転入直前の牧区（令和 7 年度）

--

様式 3

放牧牛の転出直後の牧区（令和 8 年度）

放牧牛の転入直前の牧区（令和 8 年度）

様式 4

作 業 実 績 書

衛星画像リモートセンシングによる転牧判断に要する時間（1 週間あたり）

作業内容	使用機器等	作業人員	作業時間 （1 週間あたり）
NDVI の確認			
合計			

- ※ 実際に行った工程、作業内容を記載すること
- ※ 実際に使用した機器の規格も記載すること
- ※ 上記以外に必要な作業があれば追加して記載すること

作業日報

令和8年 月分

取組主体 所属:

氏名:

日	曜日	作業時間帯(24時間制で時刻入力)							
		午前				午後			
		開始時刻	終了時刻	合計時間	作業内容	開始時間	終了時間	合計時間	作業内容
1	金								
2	土								
3	日								
4	月								
5	火								
6	水								
7	木								
8	金								
9	土								
10	日								
11	月								
12	火								
13	水								
14	木								
15	金								
16	土								
17	日								
18	月								
19	火								
20	水								
21	木								
22	金								
23	土								
24	日								
25	月								
26	火								
27	水								
28	木								
29	金								
30	土								
31	日								
		合計	0:00			合計	0:00		

様式 6

衛星リモートセンシング転牧判断実証調査報告書

1 転牧判断

転牧エリア	NDVI から想定される転牧日	実際の転牧日	実際の転牧日の判断理由	想定転牧日の判断精度
1 回目 : ○牧区	○月○日	○月○日	××	A
2 回目 : ○牧区	○月○日	○月○日	××	B
...				C

2 実際の転牧日が想定転牧日とずれている場合の要因

3 技術の活用により削減できた作業

4 今後の対応方針（要因に対する対応等）